

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C62610-6	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	45	規格名称		ed	和名と英語名が一致していない。	和名に“in accordance with IEC 60297 and IEC 60917 Series”を追記する。 又は英語名から“in accordance with IEC 60297 and IEC 60917 Series”を削除する。	英語名から“in accordance with IEC 60297 and IEC 60917 series”を削除します。
渋谷隆 2	56 73	1		ed	“サブラック “及び” サブラック装置 “の用語が用いられている。	用語を統一する。	現状のままといたします。 キャビネット、サブラック、シャーシは、電気・電子機器用の標準化された機械的構造物として JIS C6010-1 の「用語及び定義」（3.15 キャビネット、3.18 サブラック、3.19 シャーシ）に記載しています。 一方、（今回の JIS 素案 C 62610-2、-5、-6 の 3 規格の共通事項で）サブラック装置、シャーシ装置は、サブラック、シャーシに実装基板、電子部品などを収納した装置です。キャビネット装置は、キャビネットにサブラック装置、及び/又は、シャーシ装置を搭載した装置です。従いまして、ご提案の用語の統一はできません。 キャビネット装置、サブラック装置、シャーシ装置につきましては、「用語及び定義」で追加することも検討しましたが、IDT ルールの違反となるため今回は「そのまま」とし、次回の改正時に検討します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C62610-6	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 3	56 123	1 4		ed	“シャシー”及び“シャシー装置”の用語が用いられている。	用語を統一する。	現状のままといたします。 理由は、上記に同じです。
渋谷隆 4	61 133	1 5.1		ed	“キャビネット”及び“キャビネット装置”の用語が用いられている。	用語を統一する。	現状のままといたします。 理由は、上記に同じです。
渋谷隆 5	63 他	1 他		ed	“サブラック及び/又はシャシー装置”を “サブラック装置及び/又はシャシー装置”に修正する。	“サブラック及び/又はシャシー装置”を “サブラック装置及び/又はシャシー装置”に修正する。	“サブラック装置及び/又はシャシー装置”に修正します。
渋谷隆 6	108 111 115	3.3 3.4 3.5		ed	量記号は 1 文字とする。	RC 及び BP の量記号を 1 文字とし、添え字を用いる。	現状のままといたします。 ※RC および BP という量記号は、対応国際規格 IEC62610-6 以外にも ISO/IEC 22237-7 (EN50600-3-1 に対応) に、同じ意味で用いられており、ISO/IEC や EN との共通性も考慮してこれらの量記号を用いています。
渋谷隆 7	143 144	5.1	図 2	ed	143 行～144 行は図 2 の記号説明である。	図 2 の記号説明として記載する。	修正いたします。
渋谷隆 8	163 168 173	6.1 6.2 6.3		ed	附属書 B は (規定) のため “規定” が好ましい。	“指定している” を “規定する” に修正する。	修正いたします。 附属書 B で指定しているように→附属書 B で規定するように
渋谷隆 9	198 203	6.4.5		ed	“コールドアイル”、“コールドアイルコンテインメント”及び“ホットアイルコンテインメント”の意味が分からない。JIS では、極力、日本語を用いることが要求されている。	“コールドアイル”、“コールドアイルコンテインメント”及び“ホットアイルコンテインメント”を日本語で表す。	語句に続けてカッコ内で日本語訳を追加いたします。 ・コールドアイル (冷気通路)

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C62610-6	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<ul style="list-style-type: none"> ・コールドアイルコンテインメント（冷気通路封鎖） ・ホットアイル（熱気通路） ・ホットアイルコンテインメント（熱気通路封鎖） 理由： これらの語句は、データセンターやキャビネット業界では外来語として一般化しているため、日本語に変換せずこのままとする。但し、理解を促進するためカッコ内に日本語訳を追記し、点線下線を付与する。
渋谷隆10	227	A.2.1	表 A.1	ed	“こと” 止めはしない。	修正する。	修正いたします。 「こと」止めを回避するため、表 A.1 の「仕様」列の表現を、以下の通りに変更する。 →排気流速分布の均等である。 →ヒーターのふく（幅）射による放熱の影響が最小化されている。 →装置前面側に、装置内に均一な風が流れるように配置されている。 →排気温度上昇条件を逸脱しない程度に十分に高い。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 11	228	A.2.2		ed	230行～239行は、“仕様”ではなく“評価条件”である。	228行の箇条名を“キャビネット評価条件”に修正する。	現状のままといたします。 対応国際規格では“A.2.2 Cabinet specifications”としており、その項の最初の文節も“The specifications that the cabinet to be measured shall meet are shown below.”としており、その後で試験の対象としての条件が掲げられています。 Annex A の冒頭 A.1 目的で “この附属書は...キャビネットの...熱的分離性能の評価の方法を規定する。”と目的を示しており、この目的に沿ってキャビネットの仕様が説明されています。 IDT の観点からも、このままと致します。
渋谷隆 12	250	A.3		ed	“パーティション”の用語はここだけで用いられている。JIS では、極力、日本語で記載する。	“仕切版”に修正する。	修正いたします。 但し、「仕切板」
渋谷隆 13	252	A.4		ed	253行～265行には、測定箇所ではなく、測定手順又は測定項目が記載されている。	252行を“測定手順”又は“測定項目”に修正する。	現状のままといたします。 附属書 A の箇条 4 では、本体 6.4 各部温度の測定方法の中で、6.4.1～6.4.6 に示されている温度測定的位置を示すことが主題である。
渋谷隆 14	271	A.5	表 A.2	ed	箇条 A.5 は測定例であるが、表 A.2 は仕様となっており、要求仕様を規定しているように思える。	表 A.2 の名称を、“被測定キャビネット及び被測定 DTL の仕様”に変更する。	現状のままといたします。 A.1 目的で、“この附属書は、キャビネットに実装した DTL (ダミー熱負荷) の

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					測定した被測定物の仕様であれば、表 A.2 の名称を適切に修正する。		再循環率を測定することによって、キャビネットの低温側（吸気側）と高温側（排気側）との熱的分離性能を評価する方法について規定する。”としています。キャビネットは測定の対象であり、DTL は測定のためのツールでこれを用いることを規定しています。 A.5 測定例 ではキャビネットと組み合わせて用いる DTL の仕様を紹介していますが、A.1 の目的の説明から A.5 がそれぞれの組み合わせの例を示していることは明らかなので、表 A.2 の名称に“被測定キャビネット”あるいは“測定に用いる DTL”と追加して表記する必要は無いと考えます。また、IDT の観点からも、このままと致します。
渋谷隆 15	275	A.5	図 A.1	ed	箇条 A.5 は測定例であるが、図 A.1 は測定構成となっており、要求する構成を規定しているように思える。 測定した被測定物の測定構成であれば、図 A.1 の名称を適切に修正する。	図 A.1 の名称を、“被測定キャビネット及び被測定 DTL の測定構成”	現状のままいたします。 上記、表 A.2 のコメントに対して説明した同じ理由で、図 A.1 の名称を変更する必要は無いと考えます。
渋谷隆 16	298	B		ed	附属書 B は規定であるが、要求事項が含まれていない。	(参考) に変更する。	現状のままいたします。 理由： 本体の箇条 6 では、附属書 B (規定) の方法を用いた温度比率の算出を規定して

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C62610-6	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							いる。附属書 B は本体の箇条 6 への追加の規定要素を提供するための附属書であることから、これは規定の附属書でなければならない。規定の附属書の中に要求事項が含まれていないことをもって、その附属書が規定ではないことを意味しない。
渋谷隆 17	329	C		ed	CRAC の略する前の英語が記載されていない。	略する前の英語を記載する。	修正いたします。 CRAC (Computer Room Air Conditioning : コンピュータ室空調) に修正する

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。